

# 取扱説明書

この度は当社のフローリングをご購入頂きありがとうございます。設置を開始する前に全ての手順を読み、推奨事項に従って下さい。不適切な設置方法は保証の対象外になります。適切に設置され、メンテナンスを行えば長期間キレイな外観を保つことができます。

項目に✓ をする	項目	標準	なぜ重要なのか
	下地床の平坦度	床下は、3m にわたって 5mm 以内の 平らでなければなりません。	下地の床が平らでない場合は隙間、座屈、 クリック部分の損傷を起こす可能性があ る。
	床下の湿気	ASTM F2170 RH 90% ASTM F1869 3.63 kg/92 m2 CM 2.5%	床下の湿気は、設置の失敗、アルカリ塩の 蓄積によるジョイントの損傷につながる 可能性があり、潜在的なカビの発生源の 問題を引き起こす可能性があります。 コンクリートの床下には 0.15mm のポリ シートを敷く必要があります。
	下地床のたわみ	下地床は健全で構造的に上下に動か ないものでなければなりません。	下地床のたわみはクリック部分の損傷を 引き起こす可能性があります。
	推奨される基材	柔らかい基材は使用しない	追加のソフトアンダーレイ（クッション 材）は使用しないで下さい。保証が無効に なります。クッションビニール、浮き床、 カーペットは下地には適しません。ビニ ール床材は、コンクリートの上に設置さ れている木材の上に設置しないで下さ い。保証が無効になります。
	板材を点検する	設置する板材に損傷がないかしっか り点検します	設置する前に、日光の下で材料を検査し、 色や輝きの欠陥や不一致など、目に見え る欠陥、損傷がないか、フローリングの端 がまっすぐかどうか、損傷がないか確認 して下さい。取り付け後の表面欠陥に関 するクレームは受け付けられません。
	適切な拡張スペースを保持す る	浮き床は自由に移動できる必要があ ります。	不適切な拡張は、カッピング、隙間、クリ ック部分の損傷を引き起こす可能性があ ります。

## 1. 一般的な準備

**必要ツール：**スパーサー、ゴムハンマー、定規、鉛筆、巻尺、カッターナイフ、タッピングブロック、0.15mm のポリシート、トランジションモールドディング、杵鋸、チョークライン、目の保護具、水平器、膝パッド、ほうきもしくは掃除機。

- 設置前に、日光の下で材料を検査し、欠陥や色や光沢の相違など、目に見える欠陥や損傷がないか確認します。また、床材の端が真っ直ぐで損傷がないか確認します。取り付け後の表面欠陥に関するクレームはお受けできません。
- 主な光源の方向に沿って、窓に対して垂直に板を敷くのが望ましいです。最良の結果を得るには、必ず一度に3~4箱ずつ開梱し、設置中は違う箱の板を混ぜるようにして下さい。
- 床下地や現場の状況が、この説明書に記載されている仕様に適合しているかどうかを確認して下さい。床下地が仕様に適合していない場合は、設置せずに販売元に連絡して下さい。
- 設置前に製品を乱暴に扱うと、床材が損傷する可能性があります。これらの製品及び輸送には注意して下さい。箱は損傷しないように保管、輸送をし、平らな状態で保管し、端を立てないで下さい。
- フローリング製品は重く、かさばる場合があります。製品を取扱う際は常に適切な持ち上げ方をし、安全に扱える重量を持ち上げて下さい。可能な限り、台車や資材カートなどの資材運搬機器を使用して下さい。二人以上で運搬をすることを推奨します。
- 設置前に部屋の表面積を計算し、表面積の10%の余裕を持たせて購入計画をして下さい。
- フローリングを設置する環境は製品の性能維持には重要です。フローリングは屋内でのみ設置することを目的としています。屋内の場所は、気候および構造の要件を満たしている必要があります。
- 設置前に、未開封のパッケージのまま製品を24時間室温に慣らして下さい。設置前及び設置中は室温を20°C~25°Cの一定温度に保つ必要があります。
- フローリングは温度管理された環境で設置して下さい。設置前、設置中は20°C~25°Cの温度範囲で設置する必要があります。ポータブルヒーターは、部屋と床下を十分に暖められない可能性があるためお勧めできません。石油ストーブは絶対に使用しないで下さい。
- 設置後は、床材が10°C未満または50°Cを超える温度にさらされないようにして下さい。
- 床面積が400m<sup>2</sup>を超える場合や長さが20mを超える場合は、拡張成形品を使用して下さい。

## 2. 床下情報

- このフローリングは、ほとんどの既存の硬質床材の上に設置できますが、既存の床面は構造的に健全で、清潔で、乾燥しており、滑らかでなければなりません。床下地の変動は3mにわたって5mmを超えてはなりません。
- 下地はどの方向でも2mあたり25mmを超えて傾斜してはなりません。
- 窪み、深い溝、伸縮継目、その他の床下の欠陥は補修及びレベリングコンパウンドで埋める必要があります
- 基材には過度な湿気やアルカリ性のモノがないようにして下さい。汚れ、塗料、ニス、ワックス、油、溶剤、異物、汚染物質を除去して下さい。
- 製品の汚れは膨張の原因となる為、下地の準備には石油、溶剤、柑橘系オイルを含む製品を使用しないで下さい。
- このフローリングには防水性がありますが、防湿層として使用することはできません。
- この製品は、サウナや屋外、キャンピングカー、ボート、ベランダ、温度管理がされていない部屋や家、浸水の危険がある場所には設置しないで下さい。
- 既存のシートビニール床はクッション材を使用しておらず厚さが1層を超えてはなりません。柔らかい下敷きや柔らかい基材は、クリック部分や凹みに対する製品本来の強度を低下せ、保証が無効になる可能性があります。
- 床下の湿気状態を含む現場の許容条件は、床材の寿命全体にわたって維持されなければなりません。

## 木製の床下

- このフローリングを既存の木製フローリングの上に設置する場合は、設置を始める前に、緩んだ板やきしみ音を修理することをお勧めします。
- 木製の床下地の MC (水分含有量) は 12% 以下でなければなりません。
- 床下は乾燥している必要があります。床下空間を 0.15mm のポリシートを敷く必要があります。
- フローリングは既存の床板と交差するように敷くことをお勧めします。
- 合板、OSB、パーティクルボード、チップボード、ウェーハボードなど、その他のすべての床下材は構造的に健全でなければならず、製造元の推奨事項に従って設置する必要があります。
- 枕木構造の床下地やコンクリートの上に直接敷設された木製の床下地の上には設置しないで下さい。

## コンクリート床下地

- 既存のコンクリート床下地は完全に硬化しており、少なくとも 60日経過し、滑らかで、乾燥していること、清潔で、ほこり、ワックス、溶剤、塗料、グリース、油、古い接着剤の残留物などの異物がすべて除去されている必要があります。
- 下地床は乾燥している必要があります。pH 制限は 9 で、水分含有量の要件を満たし、以下の方法に従ってテストする必要があります：
  - ✓コンクリートの水蒸気放出量は、24 時間あたり 93 m<sup>2</sup> あたり 3.63 kg MVER (水蒸気放出率) を超えてはなりません。これは、塩化カルシウム試験 (ASTM F1869) で測定できます。
  - ✓90% RH (ASTM F2170)
  - ✓水分含有量最大 2.5% (CM 法/ASTM F2659)
  - ✓ASTM F2659 に準拠した最大 4.0MC
- コンクリート床下地との間には、最低 0.15mm のポリシートを防湿層として使用することをお勧めします。

**注意:** 既存のフローリングの上に設置するのに適しているかどうかを判断する責任は、現場の設置者かフローリング請負業者のみにあります。適正に疑問がある場合は、既存のフローリングを取り除くか、その上に適切な下地材を設置する必要があります。既存の弾性フローリングの上に設置すると凹みが生じやすくなる可能性があります。

## 設置してはならない場所

- あらゆるタイプのカーペット
- 既存のクッション付きビニール床材
- あらゆるタイプの浮き床、ルースレイ、および周囲に固定されたシートビニール
- コンクリートの上、またはコンクリート上で使用される寸法木材や合板の上に敷かれる堅木張りの床や木製の下地。

## 重要なお知らせ

床内輻射熱：フローティング方式を使用して、12mmの埋め込み輻射熱の上に床材を設置できます。最大動作温度は30°Cを超えないようにして下さい。過熱を防ぐために、床内温度センサーの使用をお勧めします。

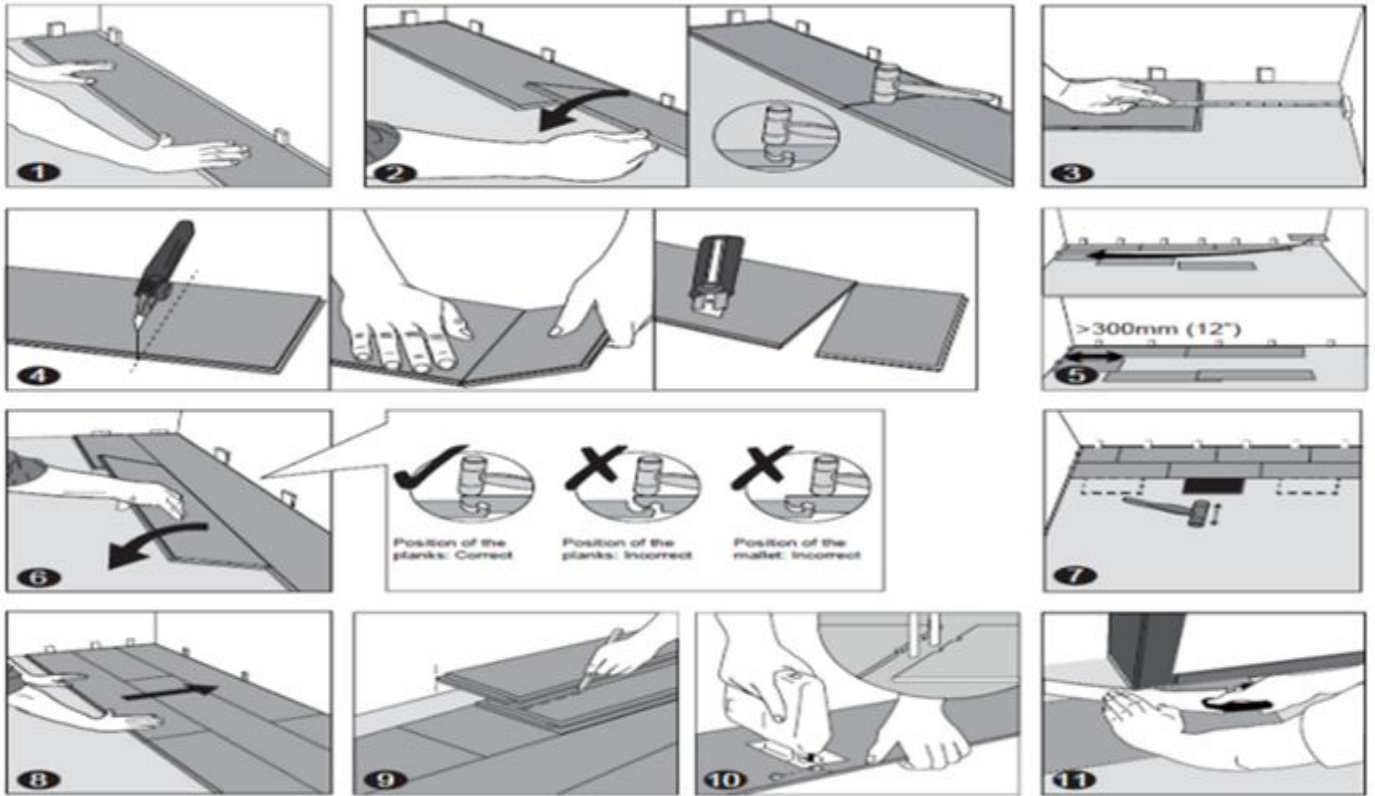
- 輻射暖房を床下地の上に設置する場合は、設置前、設置中、設置後 24 時間は暖房をオフにして下さい。
- 新しく建設された輻射熱システムの上に設置する前に、システムを最大容量で稼働させて、輻射熱システムのセメント質トップから残留水分を排出します。
- 設置前及び設置中は、室内の温度が常に 20°C～25°Cに保たれていることを確認して下さい。
- 設置が完了したら、暖房システムを周囲温度でオンにし、通常の動作条件に達するまで 12 時間ごとに 5°Cずつ徐々に温度を上げていきます。
- 追加のガイダンスについては、輻射熱システムの製造元の推奨事項を参照して下さい。

**警告：**床下に埋め込まれていない電気加熱マットは、床下での使用は推奨されません。床下に埋め込まれていない電気加熱マットを直接使用すると、故障した場合に床の保証が無効になる場合があります。床材は、埋め込まれた放射床暖房システムの上に設置し、上記のガイドラインに従うのが最善です。

**アドバイス：**暖房システムの効果を最大限高めるには、快適な温度で「オン」の時間を設定し、快適温度より通常 4°C低い設定温度で「オフ」の時間を設定するのが最善です。設定温度は特に重要です。設定温度により部屋の温度が下がりすぎることがなくなり、必要ときに部屋を快適な温度に戻るのがはるかに速くなります。

## 3.設置方法

- 部屋からトリムモールディング、電化製品、家具を取り外します。最良の結果を得るには、ドア枠を切り落とし、床材が挟まれることなく自由に動くようにします。作業エリア全体のほこりやゴミを掃除します。
  - 浮き床の場合、壁と柱、階段などの設備との間に必ず 10 mm の隙間を確保する必要があります。これらの隙間は製品の設置後にモールディングでカバーします。
  - 可能な限り、フローリングの継ぎ目が既存の下地の継ぎ目の上に重ならないようにレイアウトをして下さい。板の継ぎ目は、少なくとも 20 cm 離してズラす必要があります。列の最初または最後に 30 cm未満のピースを設置しないで下さい。
  - キッチンキャビネットは製品の上に直接設置しないで下さい。同様の重い設備も最初に設置する必要があります。その後、10mm の隙間を残して製品を設置します。この隙間は、製品を設置した後トリムモールディングでカバーします。床が自由に動くようにして初めて、床の品質が保証されます。床を釘付けしたり、接着したり、下地に固定したりしないで下さい。
  - 主な光源の方向に沿って、窓に対して垂直に取り付けることをお勧めします。
  - 設置するエリアを測ります。最後の列のボードの幅は 50mm 以上でなければなりません。その場合、設置する最初の列の幅を調整します。狭い廊下では、床を廊下の長さと同様に設置することをおすすめします。
  - **下敷き：**床に下敷きが事前に取り付けられていない場合は、音響性能を向上させ、下地の凹凸を吸収するために、下敷きを追加することをお勧めします。使用中にクリックシステムをサポートする、高密度強度（EN 16354、ASTM D3575-20、Suffix D に従って $\geq 200$  kPa）、厚さの変化 $< 10\%$ （ASTM D3575-20、Suffix B に従って）で最大厚さ 1mm の下敷きを使用すると、最良の結果が期待できます。厚い下敷き、密度が低く圧縮強度が不十分な下敷きは、クリック部分を損傷する可能性があり、保証が無効になります。
- 床に下地材があらかじめ取り付けられている場合、追加の下地材を使用するとクリック部分が損傷し、保証が無効になることがあります。



①.最初の列、最初の板：床をキレイに掃除した後、左から右へ敷き始める必要があります。最初のフローリングは、溝の付いた端が手前になるように置きます。左側の壁からフローリングを10mm 離して置きます。壁とフローリングの間にスペーサーを使用して下さい。

②.1列目、2枚目の板：1枚目のフローリングと2枚目のフローリングをはめ込み、ゴム製のハンマーで端を軽く叩いて、前のフローリングにしっかりと固定し、両方のフローリングが同じ高さになるようにします。両方のフローリングが完全に揃っていることを確認します。2枚のフローリングの短辺が正しく合わせられた後、ゴム製のハンマーでロック部分を真上から叩き、正しく固定できているかを確認します。

注意：ハンマーでロック部分を真上から叩いて下さい。クリック部分に近い箇所を叩くとクリック部分が損傷する可能性があります。右側の壁に到達するまで、①と②を繰り返します。

**重要：**両方のフローリングの高さが同じではなかったり、しっかりとロックされていないことに気付いた場合は、ページ下部の分解手順に従って分解し、はめ込み部分にゴミが詰まっていないか確認して下さい。正しくはめ込まれておらず、ズレた状態で無理に押し込もうとすると、クリック部分が損傷する可能性があります。

③.最初の列、最後の板：最初の列の終わりに、壁に対して10mmの隙間を残し、最後のフローリングの長さを測ってフィットさせます。

④.板を切るには：シンプルなカッターナイフと定規を使用し、柄の面を上にして、同じ軸に沿って深く数回切り込みをいれます。カッターナイフは表面を貫通しませんが、深い切り込みがはいります。次に、もう一方の手でもう一方の板を押さえ、切り込みのすぐ近くに手を置き下方向に力を加えれば板が割れます。

⑤.2列目、最初の板：2列目は、1列目で使用した最後のフローリングの残りの切り取った部分から始めます。このフローリングは少なくとも30cmの長さが必要です。30cm未満の場合は、新しいフローリングを半分に切って、2列目の最初の作業に使用します。隣接する各列の端の接合部は、互いに20cm以内にはいけません。可能な限り、前の列から切り取った部分を使って次の列の作業を開始します。

⑥.2列目、2枚目の板：フローリングの長辺を前の列にカチッと はめ込み、2列目最初のフローリングの短辺に25～30度の角度で差し込みしっかりと固定します。フローリングをはめ込み、ゴム製のハンマーで端を軽く叩いて、両方が同じ高さになるようにします。両方のフローリングの高さが揃っている事を確認して下さい。

⑦.各列の取り付けが完了したら：タッピングブロックとゴム製のハンマーを使用して、2列目の端を軽く叩き込み、1列目のクリックにはめ込みます。しっかりと はまっていることを確認します。取り付けた1列目と2列目の間に隙間がないことを確認します。隙間があると取り付け全体が損なわれる可能性があります。

⑧.アドバイス：最初の2～3列の板を設置した後、列がまっすぐになっていることを確認します。まっすぐでない場合は、最初の列に不規則性があり、反りが生じている可能性があります。その場合、壁の不規則性を考慮して、最初の列を再度トリミングする必要があるかもしれません。これは、最初の列を分解せずにおこなうことができます。

⑨.最後の列を設置する：最後に敷いた列の上に、別のボードを挿入する向きで正確に1枚置きます。その上に、舌側（凸側）が壁に接するようにもう1枚別のボードを置きます。このボードの端に沿って線を引き、最初のボードに印を付けます。この線に沿ってカットし必要な幅にします。カットしたボードを壁に向けて挿入します。最後の列の幅は少なくとも50mmにする必要があります。その後スペーサーを取り外します。

⑩.パイプ用の穴：パイプの直径を測り、20mm大きい穴を開けます。図のように切断したフローリングを置きます。次に、切断した部分を置きます。

⑪.ドアモールディングと幅木：図のように、ドアモールディングの横にボード（装飾面を下にして）を置きこぎりで切ります。次にフローリングをモールディングの下に滑り込ませます。

## 湿った場所への設置

**重要：**この製品は、流水のある湿った場所や、プールやシャワーエリアなどの排水溝が組み込まれた場所への設置は保証されません。

- T型モールディングを使用して、濡れたエリアと設置部分から分離します。
- 圧縮可能なPEフォームのパッカーロッドを使用して拡張スペースを埋めます。モールディングを取り付ける前に、設置の全周囲を柔軟な100%シリコンシーラントで覆います。シリコンチューブは、ホームセンターなどで購入できます。

**重要：**アクリル系シーラントは使用しないで下さい。

- ドア枠やその他の固定物との接続部分にはシリコンシーラントを塗布します。

## 4. 設置の完了

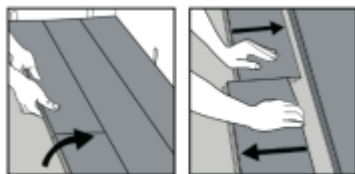
- 壁モールディングやトランジションストリップを設置して、床材の露出した端をすべて保護します。モールディングと板材の間にわずかな隙間を設けます。板材が床下に一切固定されていないことを確認して下さい。
- 出入口やフローリングが他のフローリングの表面と接する可能性のあるその他の場所では、露出した端を覆うためにトランジションモールディングを使用する必要がありますが、フローリングを挟まないで下さい。フローリングと隣接面の間には10mmの隙間を残して下さい。

## 5. メンテナンス

- 製品を直射日光から保護するために、カーテン、窓用トリートメント、窓のUV着色などの適切な窓カバーを使用して下さい。直射日光に長時間さらされると、変色する可能性があります。
- 柔らかい毛のアタッチメントを使用して、毎日掃除機をかけるか掃き掃除をして下さい。ピーター付きの掃除機は使用しないで下さい。
- 表面を磨いたり研磨したりしないで下さい。
- こぼれた液体や余分な液体はすぐに拭き取って下さい。
- 必要に応じて湿らせたモップを使用し、ビニール床に推奨されている中性洗剤を使用して下さい。
- この製品には家庭用スチームモップの使用が許可されています。適切な柔らかいパッドを使用し最低水圧で使用して下さい。長時間（30秒以上）1か所にスチームモップを当てないで下さい。適切な使用方法については、モップの製造元のマニュアルを参照して下さい。
- 家具の下にはフェルトプロテクターなどの適切な床保護具を使用して下さい。キャスター付きの移動式家具等には直径5cmのキャスターを装備して下さい。
- 家の中に持ち込まれる汚れの量を減らすために、屋外の出入口に歩行用マットを設置して下さい。ラテックスやゴムの裏地が付いたマットは、永久的な変色を引き起こす可能性があるため、使用しないで下さい。
- 床のメンテナンスに研磨剤、漂白剤、ワックスなどは使用しないで下さい。

- 頑固な汚れには、臭いの少ないミネラルスピリットまたは変性アルコールを清潔な布につけて使用して下さい。また、化学薬品を床に直接かけないで下さい。
- 重い物を床の上で引きずったり滑らせたりしないで下さい。

#### 4. 分解



全体を斜めにそっと持ち上げて前列の板から分解します。その後、板を地面に平らに置いてスライドさせます。板が簡単に分解できない場合は、スライドさせる時に板を少し持ち上げてスライドさせて下さい。